

令和2年1月17日

厚生労働省在宅医療・救急医療連携セミナーについて（報告）

令和元年度在宅医療・救急医療連携セミナーに参加したため、以下の通り、報告する。

1. 日時・場所

令和元年12月1日（日）11時00分～17時

2. 研修の目的

地域における在宅医療・救急医療等の関係者間の連携体制の構築を支援し、人生の最終段階において本人の意思が尊重される環境を整備することを目的とする。

3. 練馬区からの参加者

地区医師会より救急病院医師1名、在宅医療医師1名
行政事務職1名

4. 概要

(1) 先行して取り組む自治体の紹介

荒尾市（熊本県）、磐田市（静岡県）、久慈市（岩手県）

(2) 各自治体の在宅医療・救急医療に関する課題と課題解決のためにやるべきことについてグループワーク

5. 取り上げられた課題

《救急車を呼ぶ前》

- ・救急車利用の教育と啓発
- ・A C Pの普及と啓発

《救急車を呼んだ時》

- ・事前指示書やA C Pによる心肺蘇生をしない・中止することの法的根拠

《搬送された時》

- ・在宅医と救急医との連携の強化

《帰宅時》

- ・夜間等の公共交通機関を利用できない時の帰宅のシステム

《その他》

- ・救急医療の現状課題の共有
- ・多職種連携
- ・家族の理解と在宅医との信頼関係の更なる構築
- ・精神科救急の搬送システムの構築（東京都はシステムあり）